



# ファンドマネージャー 秋野 充成の AKINO REPORT



代表取締役社長 秋野充成

いちよしアセットマネジメント

FM 今月のポイント (2026年3月)

\* 2月の国内株式市場は大幅上昇となりました。日経平均株価は1月末比で10.4%、TOPIXも10.4%の上昇を記録し、ともに最高値を更新しました。大幅上昇のきっかけは衆議院選挙において自民党が大勝したことです。高市首相も政権基盤が強固となり、高市高圧経済政策の推進力が増したことから、内外投資家の期待感が高まりました(外国人投資家は2月1週から3週まで、現物株を2兆円以上買い越し)。米国株式市場の状況も日本株を後押ししました。ゴルディロックシナリオ継続の状況で、大型テック株集中相場から、景気敏感株への分散が明確になっていることです。さらに、アンソロピック・ショック(AI エージェントの台頭によるSaaSへの逆風、いわゆる「SaaSの死」は以前から警戒されていた。そして、アンソロピックのClaude Coworkの登場が、「AI エージェントが仕事を進める時代にSaaSは本当に必要なか?」という疑念に火をつけ、それがアンソロピック・ショックを引き起こした。Claude Coworkは自然言語での入力に対応し、プログラミング知識がないユーザーでも直感的に利用できるAI エージェント。ユーザーが目標を提示するだけで、AI エージェントが自律的に達成手段を検討し、必要に応じて追加の質問をユーザーに投げかけながら業務遂行を支援する。さらに、財務、営業、法務に関連するプラグイン(機能を拡張するソフトウェア)が用意されており、特に、契約書のレビューや秘密保持契約の確認といった法務関連、仕訳準備や財務諸表の作成といった財務関連のプラグインが高く評価されている)が、製造業への資金シフトを加速させ、日本株選好を高めました。日本同様に、韓国株、台湾株への資金流入も大きく、韓国株は1月末比で約19%、台湾株は約13%の上昇を記録しました。

\* イスラエル・米国によるイラン攻撃が開始されました。トランプ米大統領は2月28日、米国とイスラエルがイランに対して行った大規模軍事作戦で、イランの最高指導者アリ・ハメネイ師が死亡したと発表しました。イラン側もハメネイ師の死去を確認しています。イスラム教シーア派の宗教指導者を頂点とするイランの体制が大きく揺らぐのは必至で、体制転換に向けた動きは極めて重大な局面を迎えています。マーケットへの影響は予断を許しません。ポイントは、「戦争状態が長期化するのか?」、「原油価格が大幅に上昇するのか(ホルムズ海峡の封鎖)?」、「イラン現体制が転換するか?」、「中東全域で反米感情が爆発するか?」⇒現時点において即断できませんが、米国、ロシア、中国の関係は良好であること(あくまでも表面的ながら、米国とロシアはウクライナ問題への協調を優先。中国と米国は貿易問題での協調を優先)、イラン反体制勢力の存在が大きくなっていること(イランの最高指導者アリ・ハメネイ師が死亡したとの報道を受け、イランの人々は街に繰り出し、歓声を上げたり音楽を演奏したりして喜びをあらわにしたとの報道)、サウジアラビアと米国の関係は良好であること(2025年11月18~19日、ムハンマド皇太子(兼首相)は2018年以来となる米国への公式訪問を行い、トランプ大統領と会談した。同会談では、戦略的パートナーシップの一層の強化に向けた取り組みに加え、地域情勢や国際問題について幅広く意見交換が行われた。また、ムハンマド皇太子は対米投資額を従来の約6000億ドルから1兆ドルへ引き上げる意向を示した。ムハンマド皇太子の訪米に際し、防衛やエネルギー、鉱物資源、先端技術など多岐にわたる分野で協力拡大に関する合意が発表された)⇒従って、戦争の長期化はなく、イランによるホルムズ海峡の封鎖は不可能で、原油価格の上昇は限定的と想定しています。仮に、イラン情勢で、世界的に株価が大幅に下落する場合は、冷静にポジションテイクするべきです。

裏面をご覧ください。

## 『 重要な注意事項 』

- この資料は、市場の現状の説明資料の一部としていちよしアセットマネジメントが作成し、いちよし証券がいちよしアセットマネジメントとの営業代理契約に基づいて提供するものです。未許可での使用、複製の作成や発表は法律で禁じられております。
- この資料は、いちよしアセットマネジメントが信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて同社により作成されたものですが、過去から将来にわたってその正確性、完全性を保証するものではありません。
- この資料は、投資の参考となる情報の提供を目的としたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。
- この資料に掲載されたデータ・グラフ等は過去の実績またはシミュレーションであり、将来の成果を示唆、あるいは保証するものではありません。また、記載された見解等の内容はすべて作成時点でのいちよしアセットマネジメントの判断であり、今後予告なく変更されることがあります。
- 投資一任業務による有価証券投資は、株価の変動により、または発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。投資運用によって発生する損益はすべてお客様に帰属します。したがって、預貯金とは異なり投資元本が保証されているものではなく、一定の運用成果を保証するものでもありません。

## ○諸経費および投資リスクについて

- 投資顧問料については、契約資産に対して年金料率で最大0.4536%(税込み)の報酬をいただくこととなります。また、契約により所定の成功報酬をいただく場合があります。その他売買手数料等の間接的な経費がかかりますが、経費の総額については委託した証券会社により手数料率等が異なるため、上限額等を表示することができません。
- お客様のために行う取引については、株式、新株予約権付社債、公社債等の有価証券に投資しますので、国内外の経済・政治情勢、金利変動、発行体の業績や財務状況等の変化の影響により、投資した有価証券の価格が下落し、損失が生じるおそれ(外国証券は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれ)があります。
- 信用取引やデリバティブ取引を行う場合は、差し入れた証拠金等の金額以上の取引を行う可能性があるため、原資産となる有価証券や指数等の価格変動により、差し入れた証拠金等を上回る損失が生じるおそれがあります。また、デリバティブ取引等の額の証拠金等の額に対する比率は投資方針や市場の動向等により変化するため、その比率を事前に示すことができません。
- 諸経費およびリスクについての詳細は、契約締結前交付書面をよくご覧ください。

商号等： いちよしアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号  
加入協会： 一般社団法人 投資信託協会  
一般社団法人 日本投資顧問業協会